

## DMS キー入力ガイド

Microcat は、Infomedia DMSi アプリケーションの使用により、貴社の取扱店管理システム（DMS）との統合を可能にします。部品を DMS に直接転送することで、時間の節約、エラーの低減、取扱店での処理の効率化につながります。

### DMSi アプリケーションのインストール

Infomedia 製品と DMS を統合できるようにするには、Infomedia DMSi をインストールして設定する必要があります。Infomedia DMSi 8 をインストールしても、前の DMSi 設定はすべて保持されます。

Infomedia DMSi には、Microsoft .NET Framework（最新バージョン）が必要です。システムにない場合、Microsoft .NET Framework は DMSi をインストールすると自動的にインストールされます。

Infomedia DMSi をインストールするには：

- 1 このウェブサイト(<https://dmsi.autopartsbridge.com/ui/DMSi/publish.htm>)にアクセスします。
- 2 ドロップダウンから言語を選択し、インストールをクリックします。  
Infomedia DMSi アプリケーションがダウンロードされます。
- 3 DMSi ファイルをクリックして開き、インストールを開始します。
- 4 インストールをクリックします。  
インストールには数分かかります。
- 5 メッセージが表示されたら、ユーザー名とパスワードを入力します。  
Microcat EPC へのログインと同じログイン資格情報を使用します。
- 6 ログイン詳細を保存するチェックボックスをクリックし、OK をクリックします。

DMSi ログイン

DMSi をサーバーに接続することを許可するには、ご自分の Infomedia 資格情報を入力してください。

アクセスコードを使用する

ユーザー名: kaz@infomedia.com

パスワード: \*\*\*\*\*

ログイン詳細を保存する

キャンセル OK

### Microcat EPC での DMSi 統合の設定

DMSi がインストールされたら、Microcat EPC で DMSi 設定を確認し、構成する必要があります。

新旧の DMSi 接続が設定ウィンドウの「統合」タブの「使用可能な接続」ドロップダウンに表示されます。必要な接続が選択されていることを確認する必要があります。

Microcat EPC で DMSi 統合を設定するには :

- 1 Microcat EPC にアクセスし、 アイコンをクリックして**設定**を選択します。
- 2 **統合**タブを選択し、DMSi 統合設定を表示します。
- 3 新しい **DMSi アプリケーション**アイコンをクリックして  新しい DMSi を有効化します。
- 4 使用可能な**接続**ドロップダウンから **DMS** 接続を選択します。  
複数の DMS 接続がある場合、必要な接続を選択する必要があります。



- 5 設定ウィンドウを閉じます。
- 6 DMSi アイコン  をクリックし、DMSi  との接続が成功していることを確認します。  
DMS に部品を転送する準備が整いました。

## 部品を DMS に転送

部品情報を Microcat EPC から DMS に転送できます。キー入力 DMS 接続により、各部品は一度に 1 つのラインに転送されます。

部品を Microcat EPC から DMS に転送するには :

- 1 Microcat で部品を注文に追加します。
  - 2  ドロップダウンメニューをクリックし、**DMS** を選択します。  
初めて「転送」をクリックすると、DMS を起動するよう求められます。
  - 3 転送リストウィンドウで各部品を選択し、**転送**をクリックします。
- ▶ DMSi 設定は、Windows タスクバーで Infomedia DMSi 8  アイコンを右クリックし、**設定**を選択すると、いつでも確認できます。

## 新規 DMS 接続の設定

Infomedia DMSi では、事前設定またはカスタマイズされている DMS 接続のどちらかを追加することができます。

### 事前設定されている DMS 接続の追加

ご希望の DMS 接続の設定が DMSi で自動的に事前設定された場合、事前設定された接続フレームで DMS 接続が使用可能になります。

ラインごとの転送用に事前設定された DMS 接続を追加するには：

- 1 Windows タスクバーの  アイコンを右クリックし、**設定**を選択します。
- 2 **新規追加**をクリックします。
- 3 **アプリケーション**ドロップダウンメニューから **Infomedia** 製品を選択します。
- 4 **事前設定された接続を使用する**ドロップダウンメニューから選択し、**OK** をクリックします。
- 5 使用可能な接続フレームで新しい DMS 接続をダブルクリックします。
- 6 **設定**をクリックして詳細を確認するか、必要に応じて変更を加えます。例：
  - 「全般」タブで、ウィンドウタイトルを特定の DMS 名に変更します。
  - 「転送」タブで、キー入力を DMS へ転送するために使用する各転送シーケンスを変更します。
- 7 **OK** をクリックします。

### カスタム DMS 接続の追加

ご希望の DMS 接続が事前設定されたフレームに表示されていない場合、新規カスタム接続を追加する必要があります。

ラインごとの転送用カスタム DMS 接続を追加するには：

- 1 Windows タスクバーの  アイコンを右クリックし、**設定**を選択します。
- 2 **新規追加**をクリックします。
- 3 **アプリケーション**ドロップダウンメニューから **Infomedia** 製品を選択します。
- 4 カスタム接続フレームで**新規追加**をクリックします。
- 5 行ごとに**送信**を選択し、**次へ**をクリックします。
- 6 **全般**タブで、アプリケーションの場所とタイトルを指定する必要があります。
  - **DMS 実行中**（推奨）の場合、**構成**をクリックし、**はい**を選択します。アプリケーションのリストから貴社の **DMS** を選択し、**次へ**をクリックします。アプリケーションパスとウィンドウタイトル詳細を確認し、**完了**をクリックします。

- DMS が実行中ではない場合、アプリケーションパスフィールドの  アイコンをクリックし、必要なフォルダを選択します。ウィンドウタイトルフィールドに DMS の名前を入力します。



The screenshot shows a software window with four tabs: 'General' (全般), 'Transfer' (転送), 'Inquiry' (問合せ), and 'Details' (詳細). The 'Transfer' tab is active. Under 'Application Selection', there is a text field and a 'Compose' button. Under 'Application Details', there are three text input fields: 'Application Path' (with a browse button), 'Command Arguments', and 'Window Title'.

- 7 転送タブで、注文リストの各ラインを DMS に送信するよう転送シーケンスを設定できます。
    - 転送シーケンスフレームで既定転送シーケンスを表示します。
    - 必要に応じて、転送シーケンスを修正します。シーケンス追加フレームで必要なボタンをクリックし、シーケンスを指定します。
  - 8 問合せタブで、部品の在庫に関する問合せを DMS に送信するよう転送シーケンスを設定できます。
    - 転送シーケンスフレームで既定転送シーケンスを表示します。
    - 必要に応じて、転送シーケンスを修正します。シーケンス追加フレームで必要なボタンをクリックし、シーケンスを指定します。
  - 9 詳細タブで、別のウィンドウまたは転送オプションを選択できます。
  - 10 設定が完了したら、次へをクリックします。
  - 11 DMS 接続の名前を入力し、完了をクリックします。
  - 12 OK をクリックします。
- ▶ DMS 統合に関する詳細は、カスタマーサービス (<https://www.infomedia.com.au/contact/customer-support>) へお問い合わせください。